

退公連 いわき

第 67 号
福島県退職公務員連盟
いわき支部

発行日 令和5年1月31日
発行者 草野 義 教
発行所 石森二丁目6-1
(電) 22-9881
印刷所 八幡印刷株式会社

新年を迎えて

支部長 草野 義 教

新年あけましておめでとうござい
ます。会員の皆様のご健康とご多幸
をお祈り申し上げます。

昨年、コロナ禍の中、また新た
な波が押し寄せ、医療崩壊の懸念も
増し、高齢者にとっても不安な毎日
でした。今年こそコロナが終息する
ことを心から念じております。

このような中で、支部の活動も休
止の状態でしたが、昨年は県職員3
名、教職員4名の方々に入会いた
きました。長引く会員の減少傾向が、
組織の維持拡充を困難にしている中
での入会、本当にありがとうございます
ました。

今年、退公連を取り巻く新たな状
況は次のとおりです。
①年金は3年ぶりに1.9%増えるとの
ことです。しかし、物価上昇分の
2.5%には追いつかず0.6%実質目減り
するそうです。これは、04年の年金
制度改正で導入されたマクロ経済ス
ライドが適用されるためです。

②医療制度改革では、75歳以上の公
的医療保険料が段階的に引き上げら
れ、年収13万円を超える約4割の人
が対象になるとのことです。

③公務員の定年を65歳に引き上げる
法律が昨年6月に成立しました。定
年延長は、長年、日公連が国に要望
し続けてきたことです。具体的には、
令和5年度から2年ごとに1歳ずつ
引き上げられます。定年延長に伴い、
退職予定者への入会勧誘は、退職者
個々の状況に応じて変わるようにな
ります。

退公連の目指すところは、現職・
退職公務員に関わる年金制度や医療
制度をはじめとする社会保障制度の
維持向上です。それを国に働きかけ
る中核としての退公連にとって、組
織の維持・拡充は最重要課題です。
退公連の活動が充実したものと
なるよう、今後とも皆様のご理解とご
協力をよろしく願います。

明けまして おめでとうございます

支部長
ほか役員一同

ウィズコロナへの対応

事務局長 回野 勝一

コロナが第8波となった。本会の
諸事業も中止が続く。個人でできる
距離の確保、マスク着用、手洗い、
消毒、換気を続けるしかない。そし
て健康管理(食事、運動、睡眠)で
免疫力を高める事も肝要だろう。

一方、社会情勢も変動し本会に影
響を与えている。銀行の振替手数料
が10円から50円になった。このま
までは会費値上げとなるので、基本手
数料6万円を会よりだし、個人負担
が55円となるネットバンキング契約
とした。また、退職後の再任用制度
により新会員が激減中だ。さらに、
公務員の定年退職年齢の段階的引上
げが始まる。退職者0が隔年で10年
続く。会員構成(60代14%、80代35%、
90代24%)の高齢化が進み、運営の
工夫が課題となっている。
ウィズコロナになっても新たな対
応が求められる。豊かで活力のある
生活の維持と会員相互の融和・連携、
社会貢献となるよう知恵を絞り、会
員皆様のご支援ご協力のもとに諸事
業を推進していきたい。

組織強化対策について

コロナ感染3年を経過し、思うよ
うな新会員勧誘ができない中、何と
か役員や会員全員が昨年度より一
でも多くの新会員獲得に向け、電話・
手紙・葉書による勧誘等、工夫し
ながら奮闘している。また、2月に
は事務局の尽力で小・中学校長へ郵
送にて定年退職予定者への資料配布
の依頼を予定している。新会員勧誘
には、「公務員年金等の社会保障制
度全体の確立に関する要望。多くの
退職者の力の結集と組織力の向上。」
の大切さを特に強調し訴えたい。
(組織部長 増井 啓三)

支部の主なあゆみ(令和4年度後半)

8・17	地区選出国会議員(要望活動)
8・21	第2回理事会(福島)
9・1	会員数報告
9・2	県大会(石川町) 中止
10月	ふれあい親睦旅行 中止
11・17	臨時支部連絡会議(郡山) 中止
11月	女性部・福祉部慰問活動 中止
11月	研修会 中止
12・9	第3回理事会(福島)
1・23	支部会報編集委員会(計3回)
1・31	第67号支部会報発行
2月中旬	退職予定者へ手紙による入会勧誘
3月初旬	第4回理事会
3月下旬	支部三役会・会計監査・実施予定

新年によせて

湯長谷2方部 伊深八重子

「あ、こんにちは！」と親しく話
しかけてきた方のお名前がどうして
も思い出せないことがあります。そ
ういう年令になってきたことを実感
しております。

「今年はこの年令に」とお題を
いただき、「やっぱり健康第一」と
思います。今まで継続してきたマラ
ソン練習をさらに続けていきたいと
思います。いわきサンシャインマラ
ソンが4年間で中止だったので、今年
は是非ともフルマラソンの完走を目
標にしております。マラソン仲間と

今年はこの年令に

の練習がとて楽しみみです。最高年
令83才でフルマラソンを走ります。
仲間と楽しく走ることで心身共に前
向きになります。今年も明るく楽し
く元気に走り続ける
ように健康第一に頑
張ります。

泉1方部 阿部 幸子



あとかくの
晩方の出来事で、こ



いつまでも降り続く。

民話あれこれ⑤(全5回)

弘法大師空海伝説・いわき
に、愛知に、北海道から喜界
島まで伝播—— 小澤 洋子

私の大好きな語りの演目に「あ
とかくの雪」がある。「雪深い谷
間の道を疲れと空腹のため倒れそ
うに歩く一人の旅の僧。はるか向こう
に見えた里の明かりの戸を叩く。出
てきた爺様婆様が、「不作でおかゆ
も出せないが火にだけはたつぷりあ
たつてくだされ」。爺様は大根焼きで
もと、庄屋の家から大根を盗んで(働
いて必ず返しますから)くる。爺様
の足跡が畑の道に残された。僧は数
珠を手に祈る。夜に
雪が降る。翌朝わら
じの跡が遠くまで続
いていた。

連載を終えるにあたって

連載を終えるにあたり、この機会
を設けてくださった事務局の皆様
に感謝いたします。身近にある民話の
例を取り上げて来ましたが、まだま
だ研究の余地を残している次第です。

心より歓迎いたします

新入会員紹介

令和4年4月以降

- 坂本 貴洋 (平 西)
- 吉田 信幸 (草野2(1))
- 鈴木 精一 (四倉2)
- 圓谷 貴 (御 厩)
- 御代 典文 (錦 東)
- 小野 一彦 (川 部)
- 馬目 保裕 (方部 外)

退職後に始めた陶芸が面白くて今
年で十年目に入ります。いろいろな
技法を学ぶ中で象嵌という技法に惹
かれ、自分なりの表現を追求してい
ます。毎年開催されるいわき市美術
展覧会に所属サークルの全員が出品
していて、モチベーションアップに
繋がっています。あれこれ悩みなが
ら作陶しますが、狙い通りに出来上
がった時の喜びは格別です。勿論上
手いかなない時の方が多く、反省点
を整理する中から次の課題を見つけ
て行きます。ものづくりの醍醐味は
ここにあるのではと感じています。
今年使う新し手帳はクレールとい
うシリーズですが、名前の由来は「創
造する」を意味すると書かれていま
した。今年もいろいろな事に挑戦し
新しい何かを生み出せるように、も
のづくりに励みたいですね。

私らしく生きぬく

平西方部 秋元 澄江
卯年に喜寿を迎えました。母が逝って間もなく、勿来地域の幼稚園経営者との出会いがあり、奨められて以来、私は小学生クラブの手伝いをしていきます。

健やかに生きる

一趣味・生きがいをもとめて一

指導員の資格を取得、年に数回県や市の研修を受講しています。障がいを抱く児童の捉え方や対応方法や関わり方を学ぶ機会があります。保護者や児童にとつて生きやすい世の中になってきていることを実感し、嬉しく思っています。退職後に経験が力となって貢献できる喜びは、私の生命力の源です。拘わり合いの中での会話は、感性が刺激されワクワク感が増します。「子供達の笑顔が待っている!!」この張りきっている心の状態が最も健康に良いと信じているのです。私は今、出会いに恵まれた人生を愉しんでいます。とても幸せです。

健やかに生きる

ウイズ体力の衰え

夏井方部 矢吹 洋一
先日、何年ぶりかで人間ドックを受診しました。結果、視力と聴力の数値が明らかに以前と比べて落ちていました。そう言えば、車の運転でも、右折時に同じ方向から左折してくる車に気付くのが遅く「ハッ！」としたことや、スーパーのレジで店員さんの「〇〇ですか？」がよく聞き取れず、思わず耳を傾けて二度聞きすることが出てきました。気が付けば年齢67、体力の衰えを感じる事が多くなってきました。

何かして元の数値に戻すことは無理だとしても、暴飲暴食をしない適度な食事とお酒は少々(休肝日を設けて)。ウォーキングの回数を多くするといった適度な運動。しっかりと睡眠をとるといった「規則的な生活」を心がけることこそ、今できる一杯の心得かなと想う日々です。

セカンドライフを楽しむ

檜葉町 高木 信明
私は、平成23年に発生した東日本大震災の被害者救助や行方不明者の捜索に従事し、同年5月16日付けで警察官を退職しました。双葉郡檜葉町の自宅は、放射能で汚染され帰宅が困難となったため、いわき市で避難生活を送っていました。が、避難生活の長期化、生活環境の変化から不眠症、胃潰瘍、成人病等を患ってしまいました。医師からは「ストレスを溜めない生活が特効薬」との指導の下、治療に専念し、平成28年の避難解除後は、趣味の家庭菜園・養蜂に勤しみ心身の健康を取り戻しました。

人生の決断

東京都中央区 小池 宏
40年近くの仕事を終え、東京に移住することになってもう20余年になった。きっかけは長女が関東圏の男性と結婚したことと妻の何となくも近くにとの願望にあった。ボランティアで水族館のナビゲーターをしたり、名所旧跡をむさぼるように走破したりとキラキラの60代、2人して大病を患いながらも老々介護と週3の訪問医療の70代から80代での試練の連続。この間にあの震災があり、テレビに映る大惨事に毎日涙した。

17音に生きがいを

横須賀市 伊藤 一泊
縁に膝抱いて坐りて虫を聞く
誠に拙い屈折した青春像の一句から17音の世界に浸ることとなった。今にして思えば、それは俳句結社に所属することとなり毎月5句を投句する必要に迫られ、その結果は、毎月結社誌に掲載されることで自己作句力を研ぐこととなった。幸いなことに近所に同好の句友がいたことが励みとなった。後、職を辞すると共に「白鷺」句会に入会、本格的に句作りを置くことにとなり、五七五の17音の世界に親しむ日常となった。吟行句会で季語の現場に立つことを句作りのモットーとした。人生100年時代、自分らしい句作りを生きがいにしたい。読初や身ほとりにある古季寄せ 一泊

随想 日々感謝

郷ヶ丘2B方部 福羽 令子
新しい年になり、静かで穏やかな正月を迎えることが出来ました。庭の木々もすっかり葉が落ち、ローバイの黄色の花が頑張っています。毎年やって来る目白のつがいとムク鳥の姿を目にしなが、ゆっくりと茶を喫することが我が家の1日の始まりであり、至福の一時です。日々たわいの無い会話だけれど、植物の事になると2人の趣味が同じという事もあり時を忘れる程です。特に野草を大切に育てている主人の話しには学ぶこと多くあり、今さらながら感謝の一言です。1枝いただいた花入れにかざるのは私ですが、私が教職に就いたまだ若い頃、教職の先輩でもあった父が常に、「若いうちから趣味を持ち大切にしたい。退職後の人生豊かに過ごすためにもね。」と言っていた事を思い出します。98才で他界した父は多くの趣味を持ち充実した日々を送っていました。私も退職後数十年学んで来た茶道の良さを伝えたいと思い、家

短歌

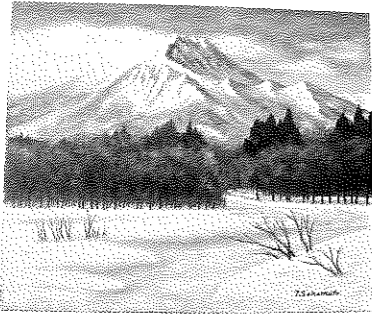
正月や家族揃って飲む宴いつもの酒もひとしほ旨し
電灯を覆ふ黒布はずしたり終戦の夜の明かり美し
叱られてばかりゐたれど夢に見し母はやさしく美しき人
母の日や年齢の離れし姉訪へば顔も仕草も生前の母
われ逝かばたゞの紙屑とは知れど五十年めの日記書きをり

上片寄方部 高橋 眞次

族の協力支援のもとに茶室「光福庵」を建て、茶道教室を開くことができました。教える事は学ぶ事でもある毎日が頭の体操です。若い時の父の教え、今の環境を作り支持してくれる家族、笑顔で学びに来るお弟子、温かい心に囲まれている事に感謝。

絵 雪の妙高山 (F8 油彩)

好間3方部 坂本 高



日本百名山のひとつ。その姿から越後富士とも呼ばれている妙高山の光り輝く広大な山谷を描きました。

川柳

四倉1方部 志賀 英信

新しい年に

初日の出見える温泉満室に燃え盛る送り火圓み幸願う成人式やめで祝うはたちの日凍み大根きれいに凍みる寒の入り探し物見つかり安堵苦笑い

事務局だより

令和4年度賛助会費
・小学校286、400円 898名
・中学校136、100円 424名
ご協力に感謝申し上げます。
◎米寿記念品を昭和10年生まれの方に贈呈
総会において記念品を贈呈するための準備をすすめています。生年月日の不明者があるため特定ができません。そこで、91歳未満の不明者を対象(入会年度より推定)とした調査をします。

謹んで 哀悼の意を表します

- 高野 弘道 阿部フミ子
宮嶋 宮子 吉野 純一
鈴木 秋夫 蛭田美智子
小玉 裕治 正木 信昭
石井 浄而 木村三樹郎
稲村 功 渡邊 護
大平 喜昭 井上 英子
鳥居 秀子 飛塚 久幸
齋藤 スエ 田子 泰雄
木幡 喜伴 安島 将
酒井 義浩 平澤 一郎

編集後記

5回にわたり民話の連載をしてくださった小澤洋子さんのコーナーが今回で終了です。寂しい気持ちでいっぱいである。皆さんともに感謝し、今後のますますの活躍に期待したい。さて卯年と聞くとなんか思いがあるが、今ひとつ心が弾まないのは、「コロナのせいだろう。次々と変異株が生まれ、ワクチンの効き目がさだかでないとも言われる。だからこそ、前を向いて、しっかりとこの1年を過ごしたい」と思っ